

人手不足をどう克服するか

(株)日本政策投資銀行北海道支店支店長 江村一幸氏

新会員卓話 長岡未来 会員

私は専門学校卒業後、小さかった時からの夢であった看護師になりました。北海道内だけではなくは留まらず、最先端の医療を学びに長崎大学病院に行き10年の節目で北海道へ戻り、それまでに見ることができなかった「健康」をテーマに健康食育ジュニア・シニアマスターを取得し講演活動に励むことになりました。と同時に発信をつけるためモデル事務所へ所属しタレント活動を実施し、趣味はゴルフ。2022年3月「株式会社未来」を設立し、SNSコンサル事業を展開しています(企業5社)。翌年2023年「メディカルライフ未来」グループホーム事業を開始し、現在は4施設運営。多くの分野で活動しております。

私のターニングポイントとなったのは長崎大学病院での勤務で、こちらの病院の紹介をいたします。同院は長崎小島で養成所として1861年に開設されました。歴史的には160年以上の歴史ある病院で、移植術に力を入れています。全国的に見て感染症でも有名であり、コロナの際には全国的に名が知れ渡ることになりました。現在は病床数が776、医師が研修医入れて800人、看護師が1000人。

話を戻して、現在の私は精神疾患のある方のグループホームを4棟運営しております。試みとしては福祉・医療の観点から入居者さんが家で快適に過ごせるサポートをしてお

り、グループホームでは珍しく看護師が常駐しています。医療機関との連携強化の他、バイタル測医療と福祉は連携が必要であると考え、最強のグループホームを目指しています。また独自の考え方でグループホーム拡大に向けて展開しています。

今回はこのような機会をくださりありがとうございます。少しでも医療福祉のことを知っていただくきっかけになればと思います。グループホームを設立して一年半が経ちました。まだまだたくさんの事例があり日々連携しながら入居者さんたちと関わっています。皆さんに少しでも福祉医療の現場のイメージがついていただけたら嬉しいです。引き続き、介護・看護と協力しながらケアに努めていけたらと思います。ご清聴ありがとうございました。

